



グリーンクラブだより vol.6



グリーンクラブのみなさん、こんにちは！晴れた日には真夏のような日差しにもなるような初夏の季節となりました。いかがお過ごしでしょうか。

5月末から6月はじめに夏～秋にかけての花苗を配布します。花壇の準備をお願いします。花苗はポットのまま長いこと置いておくと弱ってしまい、活着が悪くなります。配布後は、早めに花壇に植えつけてください。

みなさんがご近所で花を育ててくださることでまち全体の美化が広がっていきます。



【配布のお花について】

● マーガレット ●



今回はじめての配布になります。花が終わったら茎の3分の1を切り戻し、その後秋に全体の半分くらいまで切り詰めます。肥料のあげすぎは花つきが悪くなる原因になるので注意。多年草としてはじめて配布します。植え替えの必要がないので、奥に植えるなど、配置も考えてみましょう。

● 千日紅 ●

センニチコウの仲間(ヒユ科ゴンフレナ属)は熱帯アメリカにおよそ100種が分布します。日本には江戸時代前期に渡来したとされます。花びらはもたず、色づいているのは苞葉(ほうよう)と呼ばれる花の付け根に付く葉っぱです。乾燥させても色が褪せないで、ドライフラワーとして楽しむことができます。具合がよく花が咲いている頃を見計らって茎ごと刈り取り、乾燥させます。暑さには非常に強いですが、水はけが悪くじめじめした土壌は苦手なので、地植えの場合はできるだけ水はけのよい場所に植えます。



● コリウス ●



キレイに色づく葉を鑑賞するので、葉がバランスよく、たくさんついてる方が見栄えがします。秋口に伸び過ぎた枝をすべて刈り込み、半分くらいの高さにすると、またワキから新しい芽が出てきます。乾燥にとっても弱いので、水切れさせないように注意が必要です。千日紅とは対照的なので植える場所に注意しましょう。

● アゲラタム ●

気温と湿気の高い環境が苦手で、梅雨～夏は株の風通しが悪くなると、蒸れて下の方の葉っぱが腐ってべたべたになり枯れることがあります。株が茂りすぎて茎葉が密生している場合は下の方の葉を取り除いたり、枝葉を間引いて全体を透くようにします。夏までにひとつおりの花が咲き終わった株は8月頃に草丈の半分くらいの位置で切り戻し、肥料を与えると秋にもきれいな花をさかせます。

● インパチェンス ●

草丈が10cm以上になったら、摘芯してわき芽をふやすと花数が多くなります。花後、全体の半分の半分くらいに切り戻すとまた花が見られます。

● マリーゴールド ●

日当たりを好みますが、盛夏は株が弱り花つきが悪くなります。8月中～下旬に株元から20cmくらいできり戻し、新芽を再生させると秋にまた花が楽しめます。

● ポーチュラカ ●

日当たりが悪いと花がしぼんでしまうため、植え付け場所に注意。花からはこまめに取り除き、1～2ヶ月に1回切り戻して若い茎に花を咲かせます。

【花づくりの基礎知識】

● 土のこと ●

花を育てるためには、その花にあった土を使うことが大切になります。よい土とはどんな土なのでしょう？

- ・土の間に適当なすき間があり、空気や水が通りやすいこと。
- ・水やりをしたら余分な水はすぐに下から流れ出て、表面にいつまでもたまっていないこと。
- ・水やりしたらすぐに乾かず、しばらくは湿度を保っていること。
- ・病気の菌や害虫の卵、雑草の種子など、余分なものが混ざっていないこと。

その他、酸性にかたよっていないことなどもよい土の条件になります。

⇒花壇の土は少し深めに耕して、よくほぐしておくとうまいようです。



中目黒公園 花とみどりの学習館

毎月15日は、学習館で採れたハーブで
ハーブティーをお出ししています。

時間:11時～12時・13時～14時30分

申し込み不要・ハーブティー無料

(15日が休館の場合は14日です。)

お花の相談も受付ています。お気軽に

お声がけください。

お問い合わせ:03-5721-0871・月休



ご意見・お問合せはお気軽にどうぞ

ボランティア研修会のご参加ありがとうございました。
おたよりに載せてほしいこと、
こんな研修会に参加してみたい、などのご意見もお待ちしております！

目黒区みどりと公園課利用係

Tel: 03 - 5722 - 9242

Fax:03 - 3792 - 2112

Email:midori06@city.meguro.tokyo.jp